

「多摩の拠点整備基本計画（仮称）」（素案）へのご意見の概要

「多摩の拠点整備基本計画」の策定に際し、7月24日に「多摩の拠点整備基本計画（仮称）」（素案）を公表するとともに、都市整備局ホームページ等により、意見募集を行いました。短い期間にもかかわらず貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

ここでは、お寄せいただいた主なご意見の概要と、ご意見に対する都の考えを紹介させていただきます。

今後とも、東京都の施策に、ご理解、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

1. 意見募集の結果

- ・ 募集期間 平成21年7月24日から同年8月6日まで
- ・ 意見の数 1通

2. 主な意見の概要と意見に対する都の考え

公共交通網の整備について

- ・ 今後進む高齢化をにらみ、公共交通網の充実が望まれる。小型のモノレール・新交通システムなどの低コストの交通網を整備し、住民のより快適な移動を可能にしてもらいたい。路線は八王子 多摩市 町田市 青梅市 立川市を提案する。

（都の考え）

- ・ モノレール等については、現在、上北台駅～多摩センター駅間を多摩都市モノレールが結んでおり、その延伸については、開業区間の経営状況を踏まえつつ、需要動向や事業採算性、投資効果を含め、様々な角度からそのあり方を検討することとしております。
- ・ また、鉄道駅におけるエレベーター設置や駅前広場等の整備により、公共交通のバリアフリー化を促進していきます。

駅前の再開発について

- ・ 多摩地区は急速な高齢化が予測されます。高齢化が進むと自動車による移動よりも公共交通による移動が主となるでしょう。そのため、駅前の充実をにらんだ再開発を提言するものです。

（都の考え）

- ・ 都は、本計画において、今後の更なる高齢化の進展をにらみ、鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりによる市街地の再生を図ることとしています。
- ・ 具体的には、駅前の低・未利用地を活用した再開発事業等により、鉄道駅周辺に、商業、文化、教育、福祉など、人々の暮らしに密着した生活サービス機能の拡充を図っていきます。

多摩センター駅周辺の整備について

- ・京王ノ小田急多摩センター駅の上にビル建設し、ビルは京王・小田急百貨店をテナントとして誘致して欲しい。
- ・多摩センター南側駐車場（三越前）に総合ビルを建設し、上層の階は公共施設として、多摩市役所出張所、東京都出張所、法務省法務局、公共ホール、図書館を誘致し、下層の階は商業施設として、書店、薬局、飲食店その他店舗などを誘致する。
- ・多摩センター東側空き地に科学館を建設し、理科教育を目的とした物理、化学、天文、地学、郷土史、プラネタリウム、実験室などの施設を持った科学館として欲しい。

（都の考え）

- ・都では、多摩センターを核都市「多摩ニュータウン」の中心と位置づけ、業務・商業、文化等の諸機能を集積するとともに、情報関連産業やSOHO、コミュニティビジネスなど幅広いサービスを提供できる、職住近接の自立都市圏として形成を図ることとしております。
- ・いただいたご意見については、地元市や土地所有者である都市再生機構などに伝えるとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。

立川駅周辺の遊歩道の整備について

- ・立川駅（JR、モノレール）から昭和記念公園まで、安全に通行できる遊歩道を整備して欲しい。

（都の考え）

- ・立川市では、立川駅西口新自由通路の整備や、立川駅北口西地区の第一種市街地再開事業による歩行者デッキの整備など、安全で快適な歩行者空間の確保に取り組んでいます。
- ・いただいたご意見については、立川市に伝えるとともに、今後の施策の参考とさせていただきます。